

実際に機能する相互支援の仕組みづくり

射水市総合型地域スポーツクラブネットワーク会議(いみずSCネット)(富山県)

1. 合併後の地域格差の解決を図るために

任意団体の新湊カモンスポーツクラブ(以下、当クラブ)は、設立当初、継続性確保の短中期クラブ目標(戦略)を、以下のように掲げました。

- (1)行政からの早期独立(設立当初、行政主導でスタート)
- (2)市内公共体育施設の指定管理者となるためのNPO法人格取得
- (3)射水市内の5クラブのネットワークづくり

また、射水地域5市町村では、合併による地域の施設環境等格差に対する住民の不満が生じていました。市民融和を図るには、我々の総合型地域スポーツクラブしかないと確信しました。

様々な諸問題に直面する中で、射水市5クラブの事務局会議を月1回開催することを5クラブのクラブマネージャー間で合意し、会場は各クラブ持ち回りとなりました。

2. ネットワークの組織と事業内容

事務局会議を開催する中で、5クラブでのネットワーク組織の設立を提案し、約1年後の平成20年6月に射水市総合型地域スポーツクラブネットワーク会議(以下、いみずSCネット)の設立総会を開催しました。会長は、当クラブの理事長が務め(任期2年)、副会長は、他4クラブの理事長、そして、幹事には、各5クラブのクラブマネージャーが就きました。

主な事業としては、以下を展開しています。

- ①各スポーツクラブの課題及び共通事項の検討事業
 - ・事務局会議、ネットワーク会議
- ②相互の情報交換及び交流会事業
 - ・パークゴルフ交流会、ペタンク交流会等
- ③研修会、講習会事業
 - ・事務局職員研修会等
- ④その他、5クラブの目的達成に必要な事業
 - ・共同教室、射水市公募提案型市民協働事業、全国スポーツクラブ会議 in 射水



総会



パークゴルフ交流会

3. 明確な相互メリットと密な関係の構築で機能する

共同教室は、水泳、エアロビクス、スキー、フラダンス等があります。主催クラブの教室を他クラブ会員にも開放したり(教室参加料は主催クラブが徴収)、クラブ間相互でいくつかの教室を共同開催したりしています。必要なスポーツ用具等は、クラブ間で無料の貸し借りをしています。

水泳教室などは、1名でも20名でもコース使用料は変わらないので、教室参加料が増えるのは助かります。

毎月1回の事務局会議では、各クラブマネジャーが集まり、行政担当課からのオブザーバー出席を含めて、各クラブの課題等を協議し、解決に向けて連携を密にしています。

交流会事業では、各クラブの運営委員や事務局職員等が参加してパークゴルフ交流会及びペタンク交流会を開催し、親睦を深めています。終了後は恒例の懇親会で地酒や地元特産料理で盛り上がります（3次会まで行きました）。

「ネットワーク」の相互支援活動の留意点としては、事務局となるクラブマネジャーの負担ばかりが大きくならぬよう心掛けることが大切です。いみずSCネットでは、各クラブマネジャーが私に負担を掛けぬよう気配りしていただき助かりました。



5クラブ懇親会

4. ネットワークの目標を共有し協働事業を实践

平成20年には、射水市で初めて展開する公募提案型市民協働事業に「イミズムズムズ体操の企画・普及事業」をネットワークとして応募し事業決定しました。

イミズムズムズ体操とは、射水市出身でプロバスケットボールチーム「富山グラウジーズ」の応援チームG・O・Wプロデューサーでプロダンサーの★MARIE★さんが振りつけし、子どもから高齢者まで楽しく体を動かせる体操です。

事業の目標は、「市民の一体感と地域アイデンティティの醸成」「スポーツで地域を元気にする」「国保税、社会保険料、介護保険料の軽減」「市民の5クラブ参加率を3.7%（富山県平均3.5%）から5%に向上させる（結果4.4%）」「射水ブランドイメージの発信」の5つです。



ムズムズ体操

21年度は「ムズムズ体操普及啓発事業」として継続しています。ムズムズ体操指導員研修会の開催から、市内及び県内外にて普及活動を年63回展開したことは、市内総合型クラブの認知度の向上と市民融和に大きく貢献できたと実感しています。

また、平成21年5月「第3回全国スポーツクラブ会議」の開催では、いみずSCネットが共催となり、主管の「こすぎ総合スポーツクラブきらり」を支えました。総務担当として、準備委員会及び運営委員会の運営など、当日までの苦労を今思い起こすとゾッとしますが、5クラブの「こころがひとつ」となって開催できたことは、私自身やいみずSCネットにとっても大きな財産となりました。



全国スポーツクラブ交流会

5. ネットワークの今後

「いみずSCネット」の5クラブの予算をみると、指定管理者収入が総事業費の半分以上を占めています。今後、射水市の財政難による見直しがクラブ運営に影響を及ぼすことも考えられます。

行政側としても1つのクラブだけを支援することもできず、各クラブの特性は尊重されながらも、5クラブを1つとする可能性も視野に入れながら、「生涯スポーツ社会の実現」に向けて、全てのネットワークと連携し、射水市の「未来予想図」を描いていきたいと考えています。

（酒本弘充 いみずSCネット代表幹事 NPO法人新湊カモンスポーツクラブ クラブマネジャー）

【射水市総合型地域スポーツクラブネットワーク会議(いみずSCネット)の情報】

- 1) 射水市人口：94,500人
- 2) 地域特性：山、川、野そして海といった豊かな自然を活かしたスポーツ教室活動を展開。
- 3) 予算規模：500,000円
- 4) 連絡先、事務局

〒934-0039 富山県射水市久々湊 467 番地

新湊アイシン軽金属スポーツセンター（新湊総合体育館）内

NPO法人新湊カモンスポーツクラブ事務局内 いみずSCネット事務局

Tel/Fax 0766-82-8277

E-mail shin-spo@po3.canet.ne.jp